

地域連携推進会議 会議録

開催日時：令和 7 年 12 月 4 日（木）16:00～17:00

開催場所：はくたかホーム

参加者：I 様（経営に知見のある方）

N 様（福祉に知見のある方）

S 様（地域の方）

H 様（ご家族）

A 様（利用者）

M（世話人）

S（管理者：司会）

欠席者：H 様（地域の方）※やむを得ない理由のため

会議内容：

① 開会挨拶（管理者）

平素よりTPアリビオの活動へのご理解ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。この地域連携推進会議は今年度から義務化されました。様々なお立場の方からご意見やご要望を伺って、これまで自分達だけでは気づかなかった点や課題などに気づかせて頂いたり、サービスの改善や向上に役立てていけたらと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

② 出席者自己紹介

③ 施設見学

まず2階を見て頂く。2階に浴室がある。参加している利用者の方の了承を得て、本人の部屋も見せて頂き、広さや収納などを説明した。続いて1階を見て頂いた。玄関を入ると直ぐにリビングルームがあり、そこを通らないと自室に行けない作りになっており、設計時はその点をポイントにした。

N 様：洗濯などはご自身でされているのですか？

S：通所施設に出発する時間の都合で、洗濯は世話人がしています。洗濯物の取り込みも世話人がおこない、たたんだりクローゼットしまう事を本人がやっています。

④ 施設紹介

◆事業所の運営方針

事業所名TPアリビオの説明。「アリビオ」はスペイン語で「安らぎ」を意味する。お一人お一人のニーズに寄り添い、利用者さん達に心穏やかに暮らしてもらえる場所にしたいと思う。

I 様：TPアリビオのTPとは何ですか？

S：寺田プランニングです。

◆事業所の概要紹介

令和 4 年 5 月にここ“はくたかホーム”を開所。定員 5 名で男性 5 名が入居している。続いて令和 5 年 1 月に長沢に“はつはなホーム”を開所した。そちらも定員 5 名で、階を分けて女性 2 名、男性 3 名が入居している。26 歳から 52 歳までの方が利用している。平均年齢は 40.1 歳。1 名が就労しており、9 名が就労継続支援 B 型事業所に通所している。土日はご自宅に帰っている。将来的には 365 日型のグループホームを考えてはいるが、なかなか難しい。

I 様：利用者さんの区分は？

S：はくたかホームは区分 2 が 1 名、区分 3 が 3 名、区分 4 が 1 名。はつはなホームは区分 2 が 3 名、区分 3 が 2 名です。

◆職員体制

2 軒のグループホームで職員は 9 名。兼務もして頂いている。

I 様：9 名ですか。大変ですね。泊まる方はどうされているのですか？

S：週に 2 回泊まって頂いている方もいます。

I 様：大変ですね。先ほど 365 日型のグループホームの話も出ましたが、どこも職員を見つける事は一番の課題ですね。

◆生活費について

家賃が 25,000 円、食費が 15,000 円、光熱水費が 12,000 円、日用品費が 6,000 円。毎月定額 58,000 円を頂いている。年度末に精算する形。開所してから 2 回精算しているが、会計報告をして 2 回とも利用者に余剰金を返金した。

◆食事について

職員の調理負担の軽減、栄養バランスの確保、衛生面のリスクを考えて、夕食では冷凍のおかずを利用している。昨晚の夕食の写真を撮り、プリントアウトして見て頂いた。月に 1 回ずつ、手作りのカレーライス、パスタ、ハヤシライスを提供し、好評である。

◆金銭管理

基本的にお金の事は本人に任せている。週末自宅に帰るので、そこで保護者の方に足りない分のお金を補充して頂いている。使うとしても飲み物やお弁当程度であるが、本人が「これで足りるかな」と不安に思っているような時は、確認するなどしてサポートしている。

◆BCPの策定

感染症と災害時の事業継続計画（BCP）をそれぞれ作成し、ホームページで公開している。各部屋に簡易ランタンを置いている。レトルトのカレーや水、簡易トイレを常備している。

I 様：ローリングストック、非常食を食べるタイミングは難しいですよね。

S：そうなんです。先日うっかりしていたら、水の賞味期限が切れてしまい、生活水として使いました。

I 様：非常食は食べるタイミングをあらかじめ設定していかないといけないと思います。そうしないと結局捨ててしまったり、職員に持ち帰ってもらう事になってしまう。

S：そうですね。気をつけなければいけませんね。

⑤ 質疑応答

I 様：日中体調不良とか、通所をお休みされる方はどうされているのですか？

S：基本的に保護者の方に迎えに来て頂き、ご自宅に帰って頂いています。もし救急車を呼ぶような事態も保護者に連絡をする事になっています。

I 様：そういう応援体制がないと大変ですね。

S：いざという時は本部に応援をお願いするように決めています。

I 様：コロナやインフルエンザの時はどうされるのですか？

S：ご自宅に帰って頂きます。おかげさまでコロナの時も感染が広がることはありませんでした。

I 様：グループホームとしての行事などがありますか？

S：土日にご自宅に帰りますので、町内会の行事に参加はできない状況です。月末にケーキを囲んでその月生まれの方の誕生祝いをしているくらいです。

I 様：トランプをやったりはしないのですか？

M：一度トランプをやってみた事があったのですが、なかなか理解できませんでした。何回かやりましたが、終わってしまいました。

I 様：うちではカラオケをやったりしています。テレビにつなぐカラオケマイクがあります。利用者さん皆 18 番が 1 つや 2 つあるもので、お菓子をつまみ、ジュースを飲みながら楽しい時を過ごしています。

M：ご近所迷惑にはならないのでしょうか？

I 様：ボリュームを考え、それほどエコーを効かせずにやれば大丈夫です。

S：参考にさせていただきます。

S 様：うちの町内会はあまり町内会活動というのがないんです。若い方もいらっしゃるのですがちょっと。歳をとって辞めてしまったり。積極的に色々やる感じではないです。

I 様：うちも参加できなかったりするのですが、班長さんとか回って来るので、今やっています。ゴミ集積所の掃除も。

S：今年はつはなホームでは班長さんの順番が回って来たのですが、難しいという事でパスさせて頂きました。ゴミ集積所の掃除当番はやっています。

I 様：何らかの形で参加させて頂く事が大事ですね。

N 様：お食事の事なのですが、1 ヶ月の献立は決まっているのですか？

S：決まっています。（メニュー表を見て頂く）どうしてもマンネリ化してしまうのが悩みです。

I 様：うちのグループホームではヨシケイに頼んでいました。女子は量的に丁度良いのですが、男性陣には足りないようで、女子とは別に作っています。ご飯の量、足りていますか？

A 様：そうですね。

S：ご飯や汁物は、おかわりしたい時に「ないよ」となると可哀そうですから、少し多めに作り、食べる量は本人に任せています。

N 様：メニュー表を見るとバラエティーに富んでいて、家庭よりも充実しているようですね。

S：栄養士さんによる献立なので、カロリー計算もされており、健康的だと思います。

I 様：お米が買えない時がありましたよね。その時はどうされたのですか？

S：個人のお米屋さんにどうしてもお願いして、その時から配達して頂いています。

I 様：泊まる方がいないと、お一人の方が週 2 回泊まる事もあるのですか？

S：そうなんです。はくたかホームもはつはなホームも週2回泊まって頂いている方がいます。なかなか職員がいなくて、保護者の方にもお願いしています。

I様：日常の家事に支障をきたす事はないですか？

H様：いえ、もう子供達も大きいので大丈夫です。

I様：うちのグループホームは、最初土日は自宅で過ごさせたいという希望があったのですが、8年経つと土曜日もグループホームで過ごしてほしいと希望が変わってきています。でも即「わかりました」と応えられないのが、悩みの種です。ところで食事についてですが、職員は利用者さんと一緒に食べるのですか？職員割引などはあるのですか？

S：いえ、職員は“検食”という形で先に頂いています。朝は6時前になってしまうのですが、あくまでも“検食”なので、検食簿もつけています。足りない分は職員が持参しています。

I様：検食という位置づけであれば公的ですね。利用者さん達もお腹がすいているかと思いますが、食べる時に視線は感じませんか？

H様：最初は、これから検食だとこちらから伝えていたのですが、最近は利用者さんの方が検食の時間になるとずっと自室に行くようになりました。気を遣っているのかもしれませんが。

⑥ 閉会挨拶（管理者）

本日はお忙しい中のはくたかホームにお越し頂きましてありがとうございました。今回頂きました貴重なご意見を事業運営に生かし、利用者さんのより良い生活に繋がるようにしていきたいと思えます。本日は誠にありがとうございました。